

夢しやーなる

Vol. **30**

阪神北地域ビジョン委員会だより

伊丹・宝塚・川西・三田・猪名川 4市1町



南北交流会 (関連記事6ページ)



地域魅力発見研修 (関連記事8ページ)



地域見本市 (関連記事7ページ)

目次

◆ グループ活動報告	2~5
◆ 「南北交流会」を開催！	6
◆ 地域見本市の開催	7
◆ 地域魅力発見研修(第2回)の開催、イベント情報、編集後記	8

多世代交流 “じばヤング”

活動目標

多世代交流の「世話焼き」の育成と「昔の遊び」による交流広場の提供

活動状況



昔の遊び道具を作るために身近にある自然の材料を利用して、保護者と語り合いながら工夫する子どもたちの目は輝いていました。

作り上げるのに苦心をしていた子どもたちが、保護者に見守られながら完成した時は誇らしげに喜びの顔に変わりました。

「昔の遊び」出店種類 竹ぼっくり馬・紙コプター・万華鏡・六角絵本
折り紙こま・プーメラン・こま廻し・パクパクぱっくん

平成27年 5月5日(火) 宮っこキッズパーク 「昔の遊び」出店 参加者 約100人
11月7日(土) 地域見本市 「昔の遊び」出店
11月14日(土) 大手前大学学園祭 「昔の遊び」出店
15日(日) 大手前大学学園祭 「昔の遊び」出店



今後の交流予定

平成27年 12月17日(木) 大手前大学 「学生と語る会」
平成28年 1月～2月 「バーチャル旅行計画をつくろう」 阪北NPOネットグループとのコラボ事業
タブレットやパソコンを使用して家族で話し合いながら旅行計画をつくる。

阪北NPOネット

活動目標

NPO法人など団体同士のネットワーク形成を目的に、「場」づくりや人・情報の流通活性など、NPOの“見える化”を図って活動しています。

活動内容

■ 阪神北県民局管内で「中間支援」と言われるNPO法人などに所属するメンバーで構成されている当グループは、今年度のメイン活動として、11月7日に行われた「地域見本市」において、塩見直紀さん（「半農半X研究所」代表・総務省地域力創造アドバイザー）を講師にお招きして、「講演」と交流も含んだ「ワークショップ」を実施しました。

■ この日は、22人の参加があり、塩見さんのお話を聞いて「自分の中に潜在する“X”」や「これからの働き方・生き方」などに気づきあったり、新たな「つながり」も紡ぐことのできる「場」を持つことができました。アンケートでは満足度「93点」と高い評価がありました。

今後に向けて

阪神北県民局管内では、これらのメンバーや県民局職員の方々も一緒に、平成21年度から「協働のネットワーク」を築いてきました。ビジョン委員としての残りの期間も「つなぎ役」の立ち位置で、コラボ事業などネットワーク形成のためのコーディネートを実施していきます。



ふれあいと夢の「わ」

活動目標

温かいコミュニティづくりをめざして地域のイベント作りをお手伝い

活動内容

私たちは温かい地域コミュニティづくりのため、

- ①地域の祭り、イベントへの出展
- ②子ども達と親子のふれあいのイベントの提供
- ③各地域のデイサービスセンター・老人ホーム等での個別リクレーションの定期提供などを行っています。

また、それぞれの地域・施設の希望、目的にあわせた品目を考えて提供しています。

子どもとのふれあいでは、ペットボトルロケット・紙飛行機・工作などを提供し、デイサービスセンターでは手芸・工作と一緒に作り、共に笑い、楽しみを共有するようにしています。施設スタッフの方にも喜ばれています。また、認知症予防ゲーム等も提供しています。

<平成26年度>

- ・地域イベント・子どもとのふれあいは、7イベント開催。
- ・デイサービス等は、4施設28回開催。

<平成27年度(9月末まで)>

- ・地域イベント・子どもとのふれあいは、5イベント開催。
- ・デイサービス等は、5施設25回開催。



今後の展開

今後も、多くの人々が笑顔になるよう活動していきます。

もし、この夢じゃーなるをご覧になり、興味を持たれましたら、ご遠慮なくお声をおかけください。

出来るだけお手伝いさせていただきます。

輝け・次世代・阪神北

活動目標

次代を創る君たちは人類の宝物!! 輝け・次世代・阪神北

活動内容

私達はテーマの違う「青少年の健全育成」「子育て支援」「災害に強い街づくり」「障がい者に優しい街づくり」の4部門がそれぞれの目標を達成するため協働で活動しています。

- | | |
|-----------------|---|
| 平成27年 4月17日 (金) | 姫路理容美容専門学校喫煙防止講演 |
| 6月16日 (木) | 宝塚市立高司小学校6年生喫煙防止講演 |
| 6月27日 (土) | 世界薬物乱用防止世界デイ街頭運動参加 |
| 8月9日 (日) | 輝き!三田!Summerフェスタを共催にて開催。(37ブースによる子ども達のワークショップ体験・障がいをもつグループの太鼓演奏会・ビジョン委員会の活動パネル展示) |
| 8月29日 (土) | 三田市すずかけ台自治会主催
「喫煙防止と危険ドラッグ撲滅フォーラム」開催 |

今後の活動

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 11月26日 (木) | 「頑張らない子育てって何」講演予定 |
| 平成28年 3月19日 (土) | 輝き!三田!Springフェスタ開催予定 |
| 3月26日 (土) | 青少年健全育成三田市民フォーラム開催予定 |



里山・里川を体験し考える

活動目標

自然体験・環境学習等を組み合わせ、エコツアーを企画・発信する

活動内容

私たちは、「阪神市民文化社会ビジョン」の行動目標の1つである「地域の自然や環境を学び、守り育てる」を実践するために、エコツアーを企画・実行しています。

エコツアーは「地域の自然環境や歴史・文化を体験し学ぶとともに、その保全に責任を持つ観光」であり、地域の魅力をより深く知ることができるツアーです。

これまでに、「宝塚自然の家で冬を楽しむ」をテーマに、野生動物問題の講演と簡易測定キットによる河川の水質測定を体験し、シカ・イノシシのジビエ料理を食するツアーや、「里山保全と自然エネルギーを考える」をテーマに、北摂里山の丸山・松尾湿原と太陽光発電施設をめぐり、地産の野菜料理を楽しむツアーを実施しました。

また、「宝塚小浜宿の歴史と水文化を学ぶ」をテーマに、有馬街道の宿場であった小浜地区の歴史的町並みを見学するとともに、地元と伊丹の名水の水質を比較し名水で点てられたお茶を味わいました。

地域見本市では、各国のミネラルウォーターを飲み比べ水質測定も行いました。

これからも地域の魅力発信に努力します。



らぼ・環境実践

活動目標

こちよ環境との空間を創造し、人と交流しましょう

活動内容

グループの枠組みを越えた取組事業（「らぼ・環境実践グループ」&「ふれあいと夢の「わ」グループ」共同事業）

事業名：「第10回世界稲刈り選手権」

開催場所：三田市藍本 田んぼの中

開催日時：平成27年10月17日（土） 10時30分開会

事業の内容

阪神北地域在住の子どもたちに、枯れ葉堆肥を使った田んぼで育った稲を刈取る体験をしてもらい、収穫した米を使ってカレーライスと餅つき大会を開催しました。

当日は三田市内の有馬高校の生徒、伊丹・三田・川西市内園児・小学生等98名程で稲刈りをしました。当日は大変でしたが皆さんの応援もあり枯れ葉堆肥を使った稲刈りは無事に開催されました。



アンケートより

- ・男性・38歳 高校生と子どもたちのふれあいが大変素晴らしいと思います。
 - ・女性・10歳 いつもよりいっぱいかれておもしろかった。おにちゃん、おねちゃん、といっしょにできてうれしかった。
 - ・男性・15歳 今日は、稲刈りの実習をしながら子どもとふれあってとても楽しかった。カレーライスと餅つきは、稲刈りの後と言うこともありとてもお腹減っていたのでより美味しかった。次回も楽しみ。
- ※みなさんお疲れ様でした。次回、世界田植え選手権・世界稲刈り選手権共よろしくお祈いします。

今後の予定

平成27年12月19日（土） 「伊丹市内での地域との交流会(餅つき大会)」

であいたい

活動目標

阪神北地域の自然と文化や歴史に触れ地域資源の掘り起こしを行う

活動内容

- 平成27年 4月5日（日） 猪名川の「桜まつりと彫刻の道散策」を実施
 5月15日（金） 伊丹「有岡城跡・酒蔵見学と講演会」を実施
 7月5日（日） 川西「多田神社と三ツ矢サイダーの故郷を訪れる」を実施
 川西市文化財ボランティアの説明を受け川西再発見となりました。
 9月30日（水） 「宝塚・清荒神散策龍の道から名刹」実施
 10月12日（月） 「猪名川町の文化財と里山100選 黒川ダリヤ園と菊炭生産者を訪れて」
 バスツアーで里山を訪ね、猪名川・川西の自然と歴史を訪ねました。



今後の活動

- 11月28日（土） 三田「三田の名刹を訪ねて」を実施予定
 三田出身の川本幸民・白洲退蔵にスポットを当て、ゆかりの地を訪ねます。

以上で4市1町全地区の訪問を完了します。

年度末の1～3月には、グループの研究テーマ「道の駅」と地域との関わりを検証し、レポートにまとめたいと考えています。

ハッピービジョン

活動目標

食は絆 おいしく 楽しく いきいきと

活動内容

「食は絆 おいしく 楽しく いきいきと」をテーマに4市1町を拠点とし、各地域の「人財」「食財」「情報財」をコミュニティビジネスに結びつけようと、平成26年度新規にスタートしたグループです。昨年度の「人財」「食財」「情報財」の3本立てから今年度は「食財」に絞り、豊かさや地域の賑わいを創出するためのPRをします。

【活動計画一実りの季節、阪神北地域にはおいしいものがいっぱい】

- ①地域見本市において阪神北地域の野菜、果物、加工食品等の展示・PRをしました。
- ②野菜、果物等の試食見本を出しました。
 一地元食材を使用した炒め物の試食。ハッピービジョングループメンバーの持つスキルを活用した活動を計画しています。



「南北交流会」を開催！

阪神北地域ビジョン委員、阪神南地域ビジョン委員が交流し、意見交換会を行いました。

開催日 平成27年7月14日(火) 13:30~16:30

場所 阪神北県民局

内容

■猛暑の折にもかかわらず、両委員会からは多数の参加者があり、阪神南から25人、阪神北から29人と、大変賑やかで盛り上がりのある交流会となりました。

■交流会の構成は、前半が「分野別交流会」(交流グループに分かれて意見交換)で90分、後半は「全体交流会」(「分野別交流会」での話しあい結果発表や質疑応答)で30分、最後は「自由交流」として40分で、休憩も挟んで3時間という長丁場でしたが、どの場面でも発言が途絶えることなく、非常に活発な意見交流が行われました。

■「分野別交流会」での話しあい結果では、期せずしてどのグループでも「そもそもビジョン委員とは…」というトピックが話題に上がっており、南北とも委員の関心事であることが興味深かったです。

■また南北で活動展開の仕方が異なり、阪神南では、最初に「グループ」ありきではなく、「個人」単位でアイデアを出して企画を進め、そこに周りを巻き込んでグループ活動にしていく傾向があるようで、「地域文化」の特性を垣間見たようでした。

■一方、「行政管轄は南北で分かれているが、テーマによっては『阪神地域』として繋がれるのでは？」という意見もあり、例えば、行動目標3グループでは、武庫川を通した

「つながりづくり」や連携、そして活動の広がりについて話が及んでいました。

■多木局長からは、「活動にはいろいろな関わり方・やり方があっていい。取り組みやすいところから始めてみるのもいいし、同じような思いを持った人同志と一緒に委員に申込みのもいいのでは？」などのコメントをいただきました。

■平素は、自グループの活動だけで「虫の眼」になりがちですが、南北交流の機会を得て、自グループや第7期の活動を「鳥の眼」、俯瞰で見ることのできた交流会でした。



地域見本市の開催

テーマ かがやく阪神北！つながる心とひろがる絆 Part2

開催日 平成27年11月7日（土）10時～16時

場所 三田市総合福祉保健センター駐車場（三田市川除675）

内容

地域見本市は阪神北地域の4市1町にある様々な地域活動団体が参加し、活動状況のパネル展示や各種体験コーナーを実施する地域の文化祭と言えるものです。

阪神北地域ビジョン委員会が企画・運営し、阪神北地域の4市1町内で毎年会場を変えて開催してきました。



今回の地域見本市は「スマイルフェスタ」「HANNKITA こども文化フェスタ」「阪神アグリパーク阪神農業フェア」と同時開催でした。

また、道路向いのJ A兵庫六甲パスカルさんだ1番館では「さんだ農業まつり」が開催されました。

地域見本市会場では、ビジョン委員会の各グループや地域活動諸団体によるパネル展示の他、多世代交流“じばヤング”グループの「昔の遊び」、ふれあいと夢の「わ」グループの「手芸・工作の実演・体験」、里山・里川を体験し考えるグループの「各国のミネラルウォーター当てクイズと水質測定」、ハッピービジョングループの「阪神地域の農産物を使った加

工品の試食会」などを行い、また、センターの建物内では、阪北NPO ネットグループが「みんなの“X”エクスを活かすまちづくり」をテーマにワークショップを行いました。



当日は開場直後から大変大勢の人が来場され、地域見本市初企画の「スタンプラリー」では、宝塚トップスターの直筆サイン色紙や地域の特産品が当たることもあって、3,500枚のスタンプ用紙は全てなくなり、抽選機の前に長い行列ができました。地域のゆるキャラの登場もあり、大盛況でした。

私達ビジョン委員会の活動を県民の皆様にもっと広く知っていただく事が出来た1日になりました。



地域魅力発見研修（第2回）の開催

開催日 平成27年10月14日（水）

場所 丹波県民局（丹波市柏原町）
神楽の郷（丹波市青垣町）

内容

第2回のバス研修は、丹波地域ビジョン委員との交流を深め、丹波における地域おこしの実情を視察することを目的として実施されました。

当日は晴天の秋空のもと、阪急宝塚駅を8時半に出発後、次々と合流して総勢21名となった一行は、舞鶴若狭自動車道を丹波県民局へと向かいました。

10時30分から始まった意見交換会では、阪神北地域ビジョン委員会の八木下委員長および丹波地域ビジョン委員会の岡田委員長からグループ活動に関する紹介がありました。阪神北からは「夢じゃーなる第29号」、丹波からは「うりぼうニュース第25号」がそれぞれ配布され、記載のある各グループの活動内容がわかりやすく説明されました。

意見交換では、阪神北のグループから、地域における世代間の絆の問題や地域の魅力を発信する方法についての意見や質問が出されました。一方、丹波のグループからは、ひきこもりや不登校の青少年を支える苦勞、有機農業で地域おこしを行っている現状等が語られました。

JR 柏原駅内「山の駅」レストランでの昼食後、加古川源流部に位置する神楽（しぐら）の郷を訪問し、過疎地問題解決に向け古民家活用などを進めている地域活性化モデル地区の実情について、詳しい説明を受けました。

全体を通して、都市部と地方におけるビジョン委員会活動の共通点や違いをあらためて考える機会になり、今後の交流を願う旅になりました。



イベント情報

平成27年12月17日 学生と語る会。大手前大学にて、多世代交流“じばヤング”グループ担当。
平成27年12月19日 地域との交流会（餅つき大会）。伊丹市にて、らぼ・環境実践グループ担当。

編集後記

第7期ビジョン委員会も2年目の半ばになりました。各グループの目標に沿って、4市1町の各地域における県民の皆さまと共に、活発に活動している様子がこの広報紙で伺えます。

阪神南北地域ビジョン委員交流会の開催について、阪神北地域ビジョン委員全員に参加を呼びかけ、阪神北県民局で盛大に実施されました。

そして、地域魅力発見の旅は丹波地域へと行きました。丹波地域ビジョン委員との交流会や丹波市の“神楽（しぐら）の郷”（神楽の郷交流センター・集落の駅神楽・かじかの郷）を訪問しました。

また、地域見本市は三田市総合福祉保健センターで実施しました。

このようにビジョン委員が全体で取り組んできた様子が表れております。

お忙しい中、夢じゃーなる30号の原稿の執筆にご協力くださった方々、ありがとうございました。

また、広報部員全員で協力して、和やかに編集・校正作業が出来たことに感謝いたします。

2015年11月

発行： **阪神北地域ビジョン委員会**

HP http://web.pref.hyogo.jp/area/n_hanshin/vision.html

(連絡先) 〒665-8567 宝塚市旭町 2-4-15

阪神北県民局 県民交流室県民課

TEL 0797-83-3119 FAX 0797-86-4379